

詳しくは
泉わくわくプランの素案をご覧ください！

素案掲載場所

泉区役所ホームページ



泉区役所ホームページ
(9/1～閲覧可能です)



素案閲覧場所

泉区役所(3階福祉保健課 312 窓口、1階広報相談係 101 窓口)、
泉区社会福祉協議会、泉区内の地域ケアプラザ・コミュニティハウス・
地区センター

提出方法

以下のいずれかの方法でご意見をお寄せください。

横浜市電子申請・届出システム

右の二次元コードよりアクセスいただき、
入力してください。



横浜市電子申請・届出システム
(9/1～閲覧可能です)

メール：iz-chifuku@city.yokohama.lg.jp

FAX：045-800-2516

窓口提出：泉区役所福祉保健課(3階 312 窓口)

郵送：〒245-0024

泉区和泉中央北 5-1-1 泉区役所福祉保健課 宛て

※ メール・FAX・窓口提出・郵送の場合、書式等は問いません。
(ホームページに掲載している区民意見募集記入用紙をご活用いただいても構いません。)
※いただいたご意見につきましては個別に回答いたしませんのでご了承ください。

問い合わせ



泉区役所 福祉保健課 事業企画担当
TEL:045-800-2433 FAX:045-800-2516
メール：iz-chifuku@city.yokohama.lg.jp

概要版

区民意見募集

第5期 泉わくわくプラン



泉わくわくプラン推進キャラクター
いずちゃん

泉区地域福祉保健計画
～ 区計画 素案 ～

あなたの声が、泉区の未来をつくります！

「誰もが安心して暮らせるまち」に向けて、
ぜひご意見をお寄せください！

募集期間

令和7年9月1日(月)から
令和7年9月30日(火)まで

泉わくわくプランとは

地域・関係機関・行政が共に
誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

泉わくわくプランは、高齢者、障害のある方、子育て世代だけでなく、すべての区民が安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域住民・関係機関・行政が協力して取り組む計画です。

第5期計画は令和8年度から令和12年度の5か年を計画期間としています。地域のつながりや支え合いを強化することで、孤立や不安を防ぎ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを進めていくことが目的です。

計画を推進していくために

誰もが互いに支え助け合える関係を作り、安心して暮らせるまちを実現するためには、地域住民と行政、関係機関・団体等が協力して地域づくりに取り組む必要があります。

地域住民と行政、関係機関・団体等が現状や課題を明らかにし、より良いまちづくりに向けた目標を共有することで、同じ方向を見据えて、それぞれの役割に応じた取組を進めていくことができます。

地域住民

【基本理念】

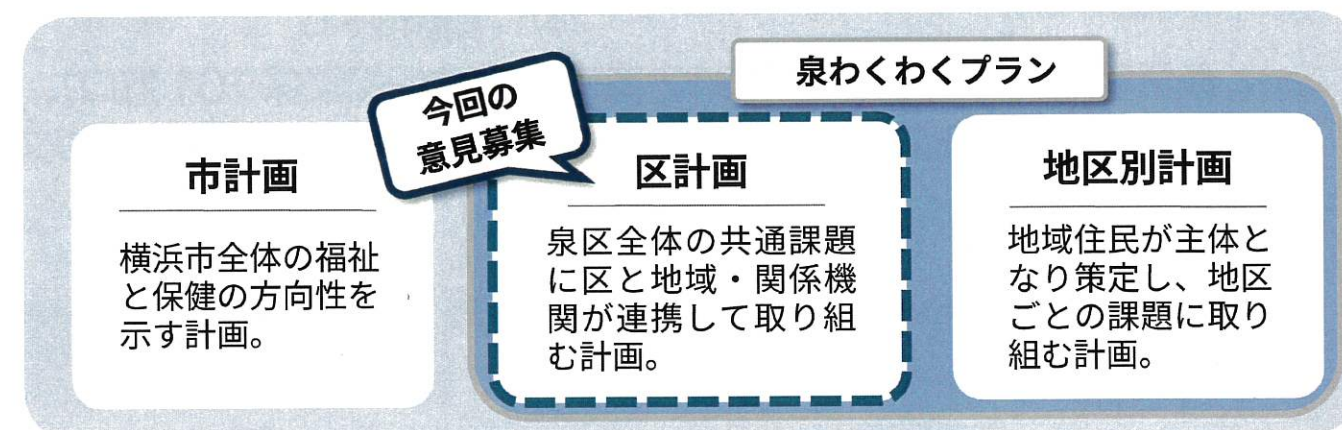
互いに支え助け合う！
誰もが安心して
暮らせるまち泉

関係機関

行政

地域福祉保健計画の全体像

横浜市の地域福祉保健計画は、市計画・区計画・地区別計画の3層で構成されています。これらの計画が連携しながら、地域の多様な課題に向き合い、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めています。



推進の柱

基本理念を実現するための3つの「推進の柱」

子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らせる泉区を目指し、健康づくりや地域での見守りなどの様々な取組を、泉わくわくプランでは3つの柱を中心にまとめています。

推進の柱 1 健やかに過ごせるまち

すべての世代が健康で自分らしく暮らし続けられるまちに向けて、健康づくりや介護予防の推進、災害時の備え、子育て支援の充実などに取り組めます。地域全体で支え合い、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

重点項目

健やかに暮らし続けるための取組を進める
自分らしく過ごせる地域づくりを進める
みんなで安心・安全な地域づくりに取り組む

推進の柱 2 必要な支援が届くまち

困りごとを抱える人が孤立せず、必要な支援につながるまちに向けて、相談窓口の周知や見守り活動の支援、支援者のスキル向上、関係機関の連携強化などに取り組み、一人ひとりに寄り添った支援体制を整えます。

重点項目

困りごとを支援につなぐ
みんなで支援する仕組みを整える
一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える

推進の柱 3 人と人、活動と活動がつながるまち

多様な人々が交流し、地域活動に参加しやすいまちに向けて、世代や立場を超えたつながりの機会づくり、地域活動の担い手の育成、ICTを活用した情報発信などに取り組めます。誰もが地域の一員として関われる泉区を目指します。

重点項目

多様性を理解し、つなげる機会を作る
参加する人を増やす
担い手を増やす